

## イハーン団をなくすための良い判断

泉小学校 5年 瀧沢 真緒

みなさん、交通安全ふくしま、「フクレンジャー」を知っていますか。今年から、二人ふえて、七人で、闇の軍団「イハーン団」から、県民をまもってくれています。それぞれ交通ルールや防犯のことをわかりやすく伝えてくれるヒーローです。私が好きなのは「フククロス」さんです。ピンク色で十文字のかわいい目をしたあの子です。なんと、占いの特技があるそうです。いわき市には、七人だけじゃなく、いわきのレンジャーがいるので紹介したいと思います。

私は、小学三年生のときに神奈川県の川崎市から福島県いわき市に引っこしました。新しい学校や友だちにドキドキしながら初めて学校に行きましたが、今では楽しく学校に通っています。でも、引っこしてきてから歩いてみると、「通学路のちがい」を見つけました。私が気づいたことは三つあります。

一つめは、車の通る方向です。川崎のときは、車が一方通行の道路が多くて、車が来るのはたいてい片方だけでした。でも、いわきでは、車が両方から来ることが多く、道路をわたるときは、左右をしっかり見る必要があります。私は、最初はとまどいしましたが、今では「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」からわたることを心がけています。

二つめは、自転車の多さとスピードのちがいです。川崎では、自転車に乗っている人がとても多く、しかもスピードを出して走っている人が目立ちました。とくにすれちがうときに車とぶつかりそうになると、歩道に入ってきてとても危なかったです。歩いている私たちのすぐそばを自転車が通っていくので、ヒヤッとすることもありました。いわきではそこまで自転車は多くないけれど、歩行者、自転車、車がそれぞれのルールをしっかり守らないと、いつでも事故は起きてしまうと感じます。みなさんも、もし川崎に旅行する時は、両方からくる自転車に気を付けてください。

三つめは、「見守り」のちがいです。いわきでは、毎朝、たとえ天気が悪い日も横断歩道におうちの人が立って、私たちを見守ってくれています。さらに、毎月一日には、警察の方や地域のパトロールの方もいっしょに、旗を立てて「交通安全」を大切にしているのは、とても良いことだと思います。おうちの人や地域の方たちのやさしさを感じながら、私は安心して学校に通えます。そうです、三つめの見守る方々が、いわき市にいる「イワキクロス」です。フクレンジャーのフククロスのおでこに①がついたキュートなあの子です。

でも、イワキクロスが守ってくれていたとしても、ゆだんしてはいけません。事故はいつ、どこで起きるか分かりません。イハーン団は、みんなが油断するのを狙っています。

たとえば、夏は太陽が早くのぼり、夜も明るいので、見えやすさにはありますが、とても暑くてぼうっとしてしまったり、水分不足でふらふらしてしまったりすることもあります。

逆に冬は、日が落ちるのが早く、暗くなる時間が長くなります。暗いと、車から歩行者が見えにくくなったり、自転車も見えにくくなるので、とても危ないです。とくに、学校が終わってからの時間や、夕方のおつかいのときは、反射材をつけたり、目立つ色の服を着たりして、事故にあわないようにしたいです。

交通安全には、歩行者だけでなく、自転車に乗っている人、車を運転している人、みんなの意識が大切です。ひとりひとりが「自分だけは大丈夫」と思わずに、ルールを守り、思いやりの声掛けで全員が安全になるよう行動することが大事だと思います。

事故のない、安心して歩けるいわきをつくるために、フクレンジャーと一緒に、いわきの交通安全を守り、もっと住みよい町にしていけるように、私も交通安全をしっかり守って、みなさんへ声掛けしていきたいと思います。

フクレンジャーが「イハーン団」から福島県民を守っています。フクレンジャーの活動をサポートするのは、県民ひとりひとりの交通ルールを理解した「イーハーン断」(良い判断)です。

## 交通ルールみんなで守ろう

植田小学校 6年 長瀬 叶太

みなさんはきちんと交通ルールを守っていますか。交通ルールを守らないと、けがをします。交通ルールを守るにあたって大事なことが五つあります。

一つ目は左右をよくかくにんすることです。左右を見ないで、飛び出してしまったら、車がきているのに気づかないでひかれてしまうかもしれません。歩行者の信号が青で車用の信号が赤でも車がつつこんでくる可能性もあります。なので、信号が青でも左右をかくにんして、わたるようにしましょう。

二つ目は、アクセルとブレーキをふみまちがえないことです。よくニュースでアクセルとブレーキをふみまちがえて、事故というのをよく耳にします。例えばコンビニエンスストアのちゅうしゃ場で、アクセルとブレーキをふみまちがえて店につつこんだということです。それは急いでいて、気持ちがあせってしまったと思います。なので車を運転するときには気持ちを落ち着かせて、のびのびと運転するとよいでしょう。

三つ目は安全に運転することです。さきほどアクセルとブレーキをふみまちがえないと紹介しましたが、これは少しにっています。まず時速約六十キロメートルがちょうどいいです。おそすぎると後ろの人にめいわくになってしまいます。逆に速すぎると事故ってしまいますし、たいほもされてしまいます。次に、急ブレーキをしないことです。すこしきけんを感じるときには、ゆっくりブレーキをかけていくのが大切です。

四つ目は自転車のことです。自転車も車と同じ様にきけんがたくさんあります。まずヘルメットをかぶることです。もし、ころんでしまって、頭をぶってしまったら大けが、または亡くなってしまうかもしれません。ヘルメットがあればけがを、少しでも減らすことができます。次に、自転車のルールについてです。自転車は、歩道と車道どちらを走るか知っていますか。答えは車道のはじめです。車がたくさんいるときは、歩道を通っていいのですが、きほんてきには、車道を通りましょう。歩道を通るときには、ゆっくり、はじめを通るようにしましょう。

五つ目は、自転車のきけん性です。車にひかれるといたいのはみんな知っていると思います。しかし自転車にひかれてもそんなにけがをしないと思いますが、とつてもいいです。自分が小さいときに自転車にひかれた経験があり、足のハムストリングあたりを深くけがをしたのをおぼえています。車にひかれると、ふつとびますが自転車はいたみがすごいです。車にはとびださなきゃひかれませんが、自転車はいつつつこんでくるかわかりません。なのでまわりに気をつけて生活しましょう。

次に運転マナーについてです。車を運転するさいには守らなければいけないことがたくさんあります。

まずていねいなハンドルさばきをすることです。ハンドルの使い方をまちがえてしまうと、まがるときに、かべに車体があたってしまったたり、信号でもたつてしまったりしてしまいます。きちんとしたハンドルさばきをすれば事故の確率を減らすことができます。

次にきけんなことはしないことです。例えば、車から上半身を出す、箱乗りや、じぐぞくに車と車のすきまを通るこうい、バイクの前りんだけあげるウィリーなどはふつうの道路などではやらないようにしましょう。箱乗りは、そのまま落ちて亡くなったり、ウィリーをして大けがを負った人もいます。そのような亡くなりかたになってしまうかもしれないので、絶対にやらないようにしましょう。

最後に、きちんと信号を守ることです。だれもみてないからって赤信号をわたってはいけません、横から車がきているかもしれないし、もしだれかに見られていて、それが動画などでとられていて、警察に言われて、たいほされてしまうかもしれません。だれも見ていないからといって赤信号をわたると、だめなので、絶対にやらないように気をつけましょう。

このように、この夏休みの今、遊びに行く子が多いと思います。もし事故にあってしまうと、夏休みが楽しくなくなってしまいます。なので自転車に乗るときは、ヘルメットをして車道のはじめを通り左右をかくにんし、青信号をわたりましょう。